

新人議員紹介

戸谷ひとみ 議員

私は、山口県玖珂郡本郷村という中山間地域にある村で生まれました。面積は飯南町の6分の1。2006年に吸収合併され岩国市になりました。

私が中学生だった29年前の人口は約1500人。今は約700人です。村に二つあった中学校の同級生は13人。今は誰も地元に住んでいません。帰省しても同級生に会うことは、ほとんど



戸谷議員

ありません。「久しぶり。元気だった？」と話をする相手がない。「お互い、年取ったね。」と笑い合える同級生がいないことが、どんなにさみしいことか……。きつと、想像していただけたと思います。

私には、小・中学生の3人の子どもがいます。中学生の長女のクラスは19人。小学生の次女と三女のクラスは11人です。

子どもたちが大人になった時、はたして何人の同級生が飯南町で暮らしているのか。大好きな故郷を思った時、今の私のようにさみしい気持ちになって欲しくない。だから「子どもたちが戻ってきたい、住み続けたいと思える町にしたい」と強く思っています。

8月から議員活動がスタートし、戸惑うことも多々ありますが、一つひとつ勉強し、住民の皆様が一番近い議員として努力してまいります。

【私が取り組む3つの柱】

- ①飯南町をブランド化します
- ②飯南町を子育てパラダイスにします
- ③飯南町を二つにします（対話で紡ぐイイナンミライ構想）



平石玲児 議員

このたび、皆様のご支援をいただき、飯南町議会議員としての第一歩を歩み始めました。

世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大は世の中に色々な制約をもたらしました。また、異常気象により、この夏には記録的な豪雨が相次ぎました。被災されました皆様方には、深くお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧を願うところであります。

このような状況において、町



平石議員

民の皆さまの代表として、職責の重さを深く感じ、身の引き締まる思いです。皆様のご期待に沿えるよう頑張っていく所存でございます。

私の自己紹介をします。現在、私は真木地区で妻と母の3人で暮らしています。ほかに3人の子供と4人の孫がいます。6年前に自衛隊を定年退職し、生まれ育った地に恩返しをしなければとふるさとに帰りました。

自衛隊では、かけがえのない経験をさせていただき、国の防衛はもとより、紛争終結後のPKOでの海外派遣や阪神淡路大震災、東日本大震災など数多くの災害等に派遣され、微力ではありますが、世界の平和や国民の皆様の民生の安定に寄与できたのではと自負しております。

こうした経験から、命を守り安心安全なまち、即ち、防災・減災・医療・福祉のまち、農林業を中心としたまちを目指して「ふるさと飯南町を守る」を胸に皆様のお声を町政へとおつなぎし、発展をさせなければと決意を固めています。

どうか皆様のご指導とご協力をお願いいたします。

今月の表紙写真



マスクもせずに語らうおじさんたちがいる。これは4年前の9月に佐見老人クラブが主催した「かかしまつり」での一コマです。秋の交通安全運動に合わせたので反射たすきをしています。お話が聞こえてきそうな情景です。コロナ禍のもとでは案山子（かかし）さんもマスク姿でしょう。「かかしまつり」も開催できない今、忘れてはいけないのは、地域の交流と人の絆です。マスクのない生活が待ち遠しいですね。